

最新クルーズフェリーで行く下関ツアー報告書



2泊3日 船中2泊

2025/2/18-20

大阪発別府往復

大阪大学国際公共政策研究科赤井研究室

フェリーきょうと

フェリーふくおか



展望デッキと満天の星

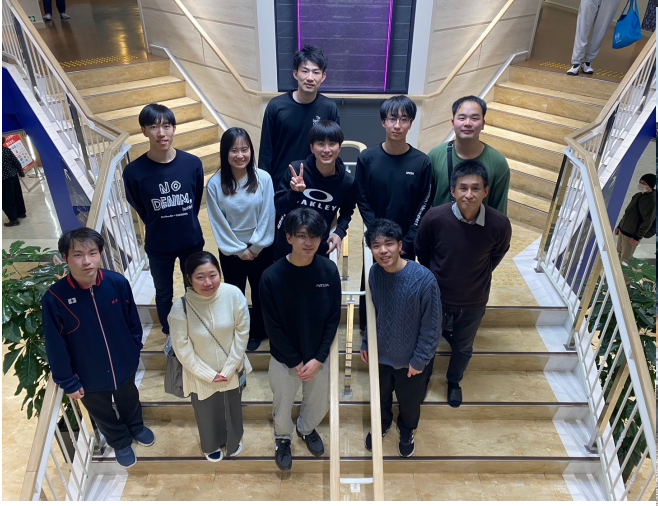


船から眺める日の出



船内の様子





スケジュール

9:35	下関（唐戸棧橋）合流
9:35	唐戸市場 （徒歩移動） 赤間神宮 日清講和記念館
10:20	唐戸 出発
10:25	みもすそ川公園（人道トンネル）
10:55	みもすそ川公園（人道トンネル） 出発
11:25	海上自衛隊小月航空基地
12:25	海上自衛隊小月航空基地 出発
13:00	瓦そばたかせ川棚
13:50	瓦そばたかせ川棚 出発
14:20	道の駅 北浦街道 豊北
14:35	道の駅 北浦街道 豊北 出発
14:45	角島
15:15	角島
16:05	ドローンスクール下関
17:05	ドローンスクール下関 出発
17:40	海峡ゆめタワー
18:10	海峡ゆめタワー 出発
18:40	門司駅 解散

参加者アンケート

内容

名門大洋フェリーの船内及び食事、大浴場など設備・内容についての感想	4
赤間神宮・日清講和記念館で学んだこと、感じたこと、感想	5
関門海峡 人道トンネルで学んだこと、感じたこと、感想	6
海上自衛隊小月航空基地で学んだこと、感じたこと、感想	7
瓦そば、道の駅、角島で感じたこと、感想	9
ドローン体験での感想	10
クルーズ・フェリー体験・インフラ施設など、今後のゼミ視察企画についての意見や要望	11

名門大洋フェリーの船内及び食事、大浴場など設備・内容についての感想

1. 船内は広々としていてとても開放感がありました。展望デッキから見る景色はとてもきれいで、特に朝日がとても美しかったです。明石海峡大橋を通過するときもとても迫力があり、また見てみたいと思いました。食事はどの料理もとても美味しく、お腹いっぱい食べることができて、とても満足でした。大浴場も広々としていて、ゆっくりと旅の疲れを癒すことができました。
2. 非常に満足度の高いフェリーでした。食事もビュッフェスタイルでおいしく、大浴場も十分な広さ、清潔さで楽しい時間を過ごすことができました。昨年度のさんふらわあも非常に良かったのですが、今年も全く見劣りすることなく、よい体験ができたと思います。
3. 今回、二度目の乗船でしたが、船内の清潔さ・充実した設備・種類豊富な食事で、いずれも大変満足のいくものでした。今年は夜に月を眺めたり、下船前に朝日が見ることができ、船上の落ち着いた環境で、とてもリラックスすることができました。少し客室が暑く、乾燥しがちではあったため、加湿器の設置や換気などがもう少しできればありがたかったです。
4. 揺れも思っていたほど少なく、就寝スペースもちょうどよく、快適に船旅を過ごすことができた。朝晩の食事についてもメニューが豊富で行きと帰りでメニューが少し違った点も良かった。また、大浴場だけではなくシャワー室があったことで、大浴場の混み具合を見ながら入浴の選択の幅を広げられるのがとても良かった。一方で就寝時に室温が高く、少し寝苦しさを覚えたので、深夜には船内全体の暖房を低めに調整をしてほしかった。また、食事について、可能ならばご当地メニュー等を船内で食べてみたいと思った。
5. フェリーには初めて乗船したが、浴場やトイレ、部屋に関しても全体的に設備が整っており、不便を感じることはなかった。乗船した約二日間ともに快適にフェリー

内で過ごすことができた。また食事に関してもビュッフェ形式でバラエティに富んでおり、飽きることなく食事を楽しむことができ、とても満足のいく乗船体験だった。

6. すごく快適。甲板から眺める日の出や明石海峡大橋はクルーズフェリーでしか楽しめない景色で高揚した。大浴場はもちろん、シャワー室も完備され広めだったのでとても旅行の準備がしやすかった。船の揺れから不快感を感じることは無く快眠だったため、旅行時の移動方法として凄く高評価できる。ビュッフェ形式の食事はとても種類が充実していて大満足だった。また食堂では多くの席から船外を眺めることができ、優雅で特別感のある朝食をとることができた。
7. フェリーでの朝晩の食事は多くの種類があり、様々なものを食べることができ、とても満足しています。大浴場もとても広く楽しむことができました。私は今回、初めてのフェリー泊でしたが、魅力を知ることができ、また乗船できればと思います。
8. 大洋フェリーには初めて乗船しましたが、想像以上に船内は快適でした。出発時の夕食と朝食はバイキング形式で、種類も豊富でおなか一杯になるまで食べることができ大変満足でした。フェリーに常設された大浴場では、ゆったりとお湯につかることができ、疲れもとることができました。寝床もコンパクトでしたが、寝る分には十分でぐっすりと眠ることができました。
9. フェリー船内は清潔で綺麗でした。また、コンパクトであるため、自分の部屋からお風呂やトイレ、食堂、甲板まで近く、過ごしやすかったです。大浴場のシャワーの数も多く、混雑することなくゆっくりと入浴できました。フェリー内でのビュッフェは多くの種類の中から好きなものをたくさん食べることができたので満足しています。特に、ソフトクリームを自分で入れる機械があるのが楽しかったです。
10. 名門大洋フェリーの船内設備は非常に充実しており、快適に過ごせました。特に大浴場は広々としていて清潔感があり、旅の疲れをしっかりと癒すことができました。食事についても、ビュッフェスタイルで種類が豊富だったため、好みに応じて選ぶ楽しさがありました。また、食堂では海を眺めながら食事を楽しむことができ、船旅ならではの特別な体験となりました。

赤間神宮・日清講和記念館で学んだこと、感じたこと、感想

1. 目の前に海が広がる立地がとても印象的でした。小月航空基地で航空機の操縦席に乗った際、赤間神社のお札が貼ってあるのを目にし、赤間神社は地元の安全・繁栄を見守る精神的支柱のような役割を果たしているのだと感じました。日清講和記念館では、歴史的な資料や当時の様子を伺うことができ、とても興味深かったです。訪れたあとに歴史の教科書を見返してみたのですが、当時の情景をより想像しながら読むことができました。
2. 赤間神宮では鮮明な赤が印象的で、印象に残る神宮でした。個人的には日清講和記念館が印象的で、当時の講和条約を結んだ場面が再現されていたり、条約の文や李鴻章の書が飾られていたり、歴史に興味を持っている身としては非常にそそられる場所でした。
3. 下関市の方にご説明していただき、赤間神宮の由来や特徴、壇ノ浦の戦いや日清講和条約などの歴史についても大変勉強になりました。特に記念館では、調度品などがそのまま展示されており、当時の様子が浮かび上がってくるようでした。赤間神

宮も竜宮造りが立派で、海からのパワーもいただけたように思います。

4. 耳なし芳一の説話は知ってはいたが、職員の方が説明してくださったことまで詳しくは知らなかったのも、一つ学びになった。下関が平家滅亡の地であったり、下関講和の地であったりするなど様々な歴史的な用地であるので、とても興味深かった。またそのような建物自体もとても美しく、時間をかけてより細かく見てみたいと思った。
5. 赤間神宮、日清講和記念館共に初めて訪れた。赤間神宮は外から一目ただけで朱色の水天門が目に入り、とても象徴的な建物だった。ガイドの中で、入水した安徳天皇のために本殿を竜宮城のような造りにしたという解説を聞き、よく取り上げられる本殿の周りに水が引いてある理由が理解できた。
6. 赤間神宮の建物様式がどこか中華風だと感じていたが、実はそれが竜宮城をイメージしているからだと補足説明を受けて腑に落ちた。側には耳なし芳一堂もあり、確かにこれも平安末期前後の時代であると改めて学び、自分の中でリンクした瞬間が面白かった。日清講和記念館では下関条約締結時の様子が再現されており、歴史的瞬間をリアルに感じることができた。
7. 赤間神宮は安徳天皇を祀り、参拝者に多くのご利益をもたらしてくださる神宮であることを昔に学び、一度足を運んでみたいと思っていました。とても神々しく、関門海峡のシンボルだと改めて感じました。日清講和記念館では、下関条約の生のかたちをそのまま再現されており、その歴史的経緯を改めて学ぶことができました。
8. ”赤間神宮では、平家一門の悲劇的な最期や安徳天皇の歴史に触れ、深い哀愁を感じました。日清講和記念館では、日清戦争後の講和交渉の舞台となった歴史的意義を学び、日本とアジアの近代史の転換点を実感しました。どちらの場所も、歴史の流れの中での重要な遺産だと感じました。実際に訪れることができて良かったです。”
9. 赤間神宮は赤が映えていて非常に綺麗な神宮でした。壇ノ浦の戦いに敗れて関門海峡に入水された天皇を祀っているため、神宮内に水を張っており、門が竜宮造になっているということもわかりました。下関条約を結んだ日清講和記念館では、話し合いの席がそのまま展示されており、感慨深かったです。伊藤と陸奥の苗字が2人ずついてどのような関係か気になりました。
10. ”赤間神宮は、その鮮やかな朱色が印象的でした。また、壇ノ浦の戦いや平家に関する日本史を学ぶことができました。さらに、日清講和記念館では、日清戦争終結に至るまでの交渉の歴史を学ぶことができ、展示されていた史料からは当時の外交交渉の様子が伝わってきました。

関門海峡 人道トンネルで学んだこと、感じたこと、感想

1. 人道トンネルはとにかく長く、実際に走って半分まで行きましたが、へとへとになりました。歩くのであれば、きつくないほどの勾配で、生活道路としてもとても便利だと感じました。このトンネルを使って、ランニングをする人もいると伺いました。私も近所であればおそらく利用していたと思います。
2. 人道トンネルをモデルにしたアニメのシーンを見たことがあったので、これがその場所だったのかという感動がありました。そもそも山口と福岡がそんな

に近いということは東北出身の私からするとイメージがなかったのですが、実際に歩いてみると、(福岡側までは行っていないものの)確かにすぐいけそうな距離で、関門海峡の景色を見ても本当に川の対岸かなというような近さが印象に残っています。大砲も歴史的な背景を感じて興味深かったです。

3. 人道トンネルは二度目の訪問で、今回は門司まで歩きましたが、改めて、海底にトンネルを掘るという偉業に感服いたしました。また、船・電車・徒歩と様々な異なるルートで関門海峡を行き来できるのは、観光地としても大変魅力的であると感じます。トンネルの通路にもう少し展示などがあると歩く時間も楽しめるように感じました(時間はかかりますが、)。
4. 本州と九州を結ぶ道を徒歩で横断できることに感動した。普段本州から北海道へと帰省している身として、本州から海峡を渡って別の土地へ行く手段が船や飛行機などしかないため、徒歩で海峡を渡れるという事実にとっても新鮮な感覚を覚えた。私は青春18きっぷを用いるような電車の旅も好きなので、今後そのような旅行で九州へ行く際は人道トンネルを用いた計画を立てたいと思った。
5. 関門トンネルでは山口県と福岡県の県境を海底トンネルで越えるという貴重な体験をすることが出来た。そのようなトンネルを人力で掘られたということにも驚いたが、市民の人の散歩のコースのようにもなっていて、歴史が地元根付いていることを感じる事が出来た。
6. 海峡を歩いて渡るという体験(厳密は半分くらい)は初めてでワクワクした。スポーツウェアで走っている方も数名いたため、地元の人たちにとっては良いマラソートルートなのかなと考えた。近くには壇ノ浦の戦いの様子をしめす像や、長州藩の下関砲台がありフォトスポットを同時に観光できる良い場所だと感じた。
7. 関門海峡や人道トンネルは今まで見たことがなく、訪れてみたいと思っていた。山口県と福岡県を繋ぐ関門海峡や人道トンネルは迫力があり、自動車だけではなく、徒歩でも行くことができるのがとても魅力的だと感じました。
8. ”関門海峡人道トンネルを歩きながら、本州と九州をつなぐこの構造の壮大さに感動しました。海の下にこんな長いトンネルが存在し、多くの人々が行き交うことに驚かされました。途中にある県境の表示はユニークで、歩いて越えることで地理的なつながりをより身近に感じる事ができました。
9. 山口県からトンネルを歩いていくと福岡県に着くくらい近くにあるのが驚きました。私は歩きましたが、何人か競争して走っていて、すごく楽しそうでした。関門橋も大きくて立派でした。そして、海沿いには大砲があり、100円を入れると、音と煙を体感することができて、戦いの歴史を感じる事ができました。
10. 関門海峡の人道トンネルでは、徒歩で県境を越えるという貴重な体験ができました。特に、山口県と福岡県を歩いて渡ること、その距離感を初めて実感できたように思います。また、ジョギングをしている人が想像以上に多く、驚きました。

海上自衛隊小月航空基地で学んだこと、感じたこと、感想

1. 小月航空基地での体験は今回の合宿の中でもとても印象に残っています。航空機の操縦席に乗り、実際に操縦する方が操作する機器を目の前にしましたが、とても複雑で、これを操作する自衛官の方々のすごさを改めて実感しました。また、管制塔の見学では、実際に航空機の着陸の様子、その際管制塔ではどのような仕事が行われているのかを目の当たりにすることができ、とても貴重な体験でした。
2. 小月航空基地は観光しようと思ってもなかなか行ける場所ではないという意味で大変貴重な経験になりました。実際に飛行機の運転席に座らせていただいたり管制塔に登らせていただいたりと、大変楽しく勉強になりました。ここから日本の防衛が成り立っているのかと思うと感謝の念も抱くようにもなりました。
3. 実際に海上自衛隊航空基地を見学させていただくことは初めてであったため、航空機に乗せていただいたり、管制官の方々のお話を聞くなど非常に貴重な経験をさせていただきました。また、日頃、自衛官の方々がどのような訓練をされているのかを知ることは、重要なことであると再認識しましたし、近年では効率性よりも安全面をより重視されているとのお話も興味深いものでした。
4. 小月航空基地では訓練機のコックピットに乗ることができたり、管制塔に上り管制官の仕事を実際に見ることができたりするなどの通常ではできない体験をすることができ、とても感動した。また、案内をしてくれた自衛官の方の説明がとても分かりやすく、どのような質問にも答えてくれたので、興味が出たことをなんでも聞きやすかったのはとても良かった。
5. 海上自衛隊小月基地の見学では、管制塔に上らせていただいたり、練習機の操縦席に実際に乗せて頂いたりと貴重な体験をすることが出来た。すべての海上自衛隊員の航空機パイロットになる隊員が必ず小月基地を訪れる話などとても興味深い話を聞くことが出来た。実際に航空機の着陸をまじかに見ることができ、とても迫力があつた。
6. 小月基地は全国の航空学生がまず学習・訓練を行う場所であり、ウィングマーク取得や管制官になるための道のりはかなり厳しいものだと言った。自分は今年からもまだ学生であり、社会人になる周囲と比較して少し不安を持っていたが、同じように学習をしている航空学生がいる事を肌で感じることで勇気もあらうことができた。また指導する立場である長官の方々は誰も、この基地に誇りを持っているように会話から感じ、カッコよかった。
7. 海上自衛隊小月航空基地では、海上自衛隊になる方々全員が学ぶ基礎教育現場を見学することができました。管制塔をはじめ、飛行機体験など他では経験できないことが小月ででき、大変満足しています。国防を守る人々の教育現場を深く知ることができました。
8. 小月航空基地は、全航空パイロットに携わる自衛隊が全員訪れる場所であることを知りました。管制塔の見学や実物の飛行機のコックピット着席は、なかなか体験できない貴重なものであり、自衛隊をより身近に感じるよいきっかけでした。このような訓練基地から全国の自衛官が養われていくのだと実感しました。
9. 海上自衛隊の航空基地というのが不思議でした。訓練用の飛行機のパイロット席に座る体験ができたのが最も印象に残っています。飛行機なのに、自動車会社のスズキが作っていることや、機体を軽量化するために羽が押すとへこむくらいの素材でできているため、乗り降りは黒い補強されている部分でしかダメ

だということを学びました。

10. 海上自衛隊小月航空基地では、実際の訓練施設や航空機に関する幅広い知識を学ぶことができました。特に、管制塔の見学では、リアルタイムでの管制の様子を間近で見ることができ、貴重な体験となりました。また、実際に航空機に搭乗し、飛行の仕組みやパイロットの視点を体験できたことは、とても印象深く心に残っています。

瓦そば、道の駅、角島で感じたこと、感想

1. 今回の合宿でいただいた料理はすべて美味しかったです、その中でも印象的なのが瓦そばです。瓦の上にそばと肉とレモンがのった今まで見たことがない料理でしたが、レモンの酸味が良い役割をはたして、とても美味しかったです。道の駅では、下関のお土産をたくさん買うことができ、とても満足でした。特に、合宿のお土産として買いたかった「東洋美人」を買うことができてとても満足です。角島では、実際に灯台に上りましたが、とても素晴らしい景色でした。もっと暖かければ、角島に1日ゆったりと過ごしてみたいと思いました。
2. 瓦そばはユニークな見た目だけでなく、味も大変おいしく、とても良いお店に連れて行っていただいたと感じています。こんがりした面も新鮮で、全体的にとっても満足な一食でした。角島は景色が大変よく、静かな点も非常に魅力的でした。是非もう一度のんびり過ごしに行きたいと感じました。
3. 瓦そばは初めて食べたのですが、味付けや食感、薬味との組み合わせ全てが美味しく、もっと全国に広まっても良い一品であると感じました。道の駅も景色が良い中で様々な地元の名産が見られてよかったですし(時間がもっとあればお茶などもしたかった)、角島は一度行ってみたかったので、絶景スポットから写真を撮ることができて、とても満足しています。
4. 昼食の瓦そばはそばが苦手な私でもリピートしたくなったほどとてもおいしかった。特につけ汁に入れたレモンのアクセントがさわやかさを追加し、何杯でも食べ飽きることがないと思った。道の駅ではご当地限定のお土産を買うことができてよかった。また、鮮魚等のお土産以外の生鮮食品もあったので、早めの時間帯に訪れて生鮮食品等の地元の食材をもっと見てみたかった。角島は自然豊かで景色もよかった。再度訪れる際はカメラを持参し、より島の風景をじっくりと撮影したいと思った。
5. 下関の郷土料理瓦そばは普段のそばと一味違い、そばを瓦で焼いて食べるというところがどちらかというと焼きそばの感覚に近いなと食べていて思った。レモンや牛肉、錦糸卵など普段そばと食べることのない食材と一緒に食べたこともあって、そばとそれらの食材が合う驚きも得ることができた。
6. 瓦そばは以前から食べてみたいご当地グルメだった。実際には想像していたより大きな瓦で迫力もあり、綺麗な盛り付けに感動した。茶そばの香や、パリパリともちもちの2種類の触感が凄く美味しく、他地域でも広まって欲しいと思うほど好みだった。道の駅でも瓦そばを購入した。車があれば比較的短時間でいろいろなスポットを巡ることができ、角島のような綺麗な自然を感じられるフォトスポットがあることも下関の魅力の一つであると学んだ。
7. 山口県の郷土料理である瓦そばは今まで食べたことがなく、一度食べてみたいと思

っていました。茶そばを瓦で食べる料理を見たことがなく、その見た目にまず感銘を受け、とても美味しく満足しました。山口県にまた行く際は瓦そばを食べてみたいと思います。

8. 瓦そばは、熱々の瓦の上で香ばしく焼かれた茶そばと甘辛いつゆの組み合わせが絶妙で、新鮮な食体験でした。道の駅では地元の特産品や新鮮な食材が並び、地域の魅力を存分に感じることができました。角島では、美しいエメラルドグリーンの海と壮大な橋の景色がとても魅力的で、角島の灯台も昔ながらのもので海風を浴びながら自然を最大限に感じることが出来ました。
9. 屋根のイメージだった瓦に茶そばとお肉、卵、レモンなどを盛り付けられた瓦そばは、見た目も味も完璧でした。つゆにレモンを絞るとより好みの味になり、非常においしかったです。角島は島への一本道も美しい景色で、綺麗な海に囲まれていて、晴れやかな気分になりました。夏に行くと海も楽しめそうで、夏にも行ってみたいと思いました。
10. 山口県名物の瓦そばを初めて食べる機会がありましたが、とても美味しくいただきました。また、見た目も名前の通り瓦にのって提供され、楽しい体験となりました。道の駅では、地元の特産品や新鮮な海産物が豊富に並び、充実した時間を過ごせました。角島では、壮観な海と長く続く角島大橋の景色が圧巻で、自然の美しさを改めて実感しました。

ドローン体験での感想

1. ドローンを実際に操作したことも、間近で見たこともなかったため、とても面白い体験をすることができました。ドローンの操作は、まるでゲーム機を使って操作しているような感覚で、子どもを思い出すような不思議な感覚を覚えました。各ドローンの性能の違いや役割についても詳しく教えていただき、短い時間ででしたがドローンへの理解をかなり深めることができました。
2. ドローンが今やそんないろいろなところで使われているとは、想像以上でした。ましてや国家資格があるということには驚きました。今後さらに使われるようになるだろうという点では、まだ国産の機種が少ないということだったので、日本のメーカーにも期待したいですし、ゆくゆくは国防にも一役買うのではと思うので、そういった意味でも応援したいと思いました。
3. ドローンを実際に動かすのは初めてであったため、とても楽しかったです。やはり、外で動かすとなると、安全面において課題はありそうですが、小型で手軽なものであったり、大型ではありつつも、画質が綺麗で手ぶれ補正が完全なものがあるなど、今後の発展がますます楽しみになりました。いずれ、多くの人が当たり前にドローンを扱う日が来るのではないかと想像されます。
4. ドローンには今回初めて触れたが、ラジコンとは違い操作も想像より簡単で、映像の画質もよくとても驚いた。またドローンを操縦するだけでなく、様々な種類のドローンを見せていただき、対象者を自動追尾するなど最新の技術にも驚いた。職員の方もドローンの操縦等の説明だけでなく、資格や機種、ドローンを用いた今後の産業や仕事等のお話も詳しく聞けたので良かった。
5. これまで一度もドローンを操縦したことがなかったため、今回は貴重な体験をすることが出来た。これまでドローンが実際にどのように運用されているのかあまりイ

メージがなく、映像の撮影などだけかと思っていたが、最近ではそれ以外にも工事現場での点検や荷物の運搬などにも使われてきているということを聞き、ドローンが日常生活で活躍の場を得ていることを知ることが出来た。

6. はじめてドローン进行操作したが凄く楽しかった。最新機は人の追尾が可能であったり、高性能カメラが付いていたり、こんなにも進化しているのかと感嘆した。また、このドローンスクールにはカフェが併設されており、そこで食べたガトーショコラ(個人的に買いました)が絶品だった。またドローンスクールの前だけに限らず、どの観光地でも綺麗な日本海を眺めることができた点も凄く良かった。
7. ドローンは近年幅広く使用されている中で、今回初めてドローン体験をできたことは貴重な機会になりました。どんな種類のドローンがあるのかや、どのようにドローンを操縦し、それぞれの用途は何かまで幅広く知ることができました。
8. ドローンを実際に操作するのは初めてでしたが、思ったよりも単純で面白かったです。ドローンにも1等免許と2等免許が存在し、ドローンを使った物の運搬や建築における見回りなどドローンの今後の可能性について知識を深めることができました。またドローンの種類によって性能が違い、機種によってできることが変わってくるのだと分かりました。
9. ドローンには興味がありましたが体験したことがなかったので貴重な体験ができました。一番印象に残っているのは手の上からスタートする小さなドローンです。顔を認証して付いてくるのがかわいくて、ペットを飼っているような気分でした。そして、大きいドローンの操縦は、コントローラーを倒す調節が難しく、円に動かすのが特に難しかったです。
10. ドローン体験は、驚きの連続でした。操縦は思った以上に繊細で難しかったです。その用途の広さや今後の活用の可能性を強く感じました。また、カメラを通じて上空からの景色をリアルタイムで見ることができ、普段とは異なる視点から風景を楽しむ貴重な体験となりました。

クルーズ・フェリー体験・インフラ施設など、今後のゼミ視察企画について

での意見や要望

1. 今回の旅行で得られた知見は3つあると思います。1つ目は、フェリーという交通手段の利便性です。宿やホテルに泊まるような感覚で、長距離を移動できるというのはとても魅力的に感じました。2つ目は、様々な場所をめぐりながら、知識をつけることができるということです。歴史や防衛、先端技術など、各地をめぐりながら自分の知識が深まった実感を得ました。3つ目は、ゼミ生との会話の中で、同じ経験に対する感想や意見を共有し、自分の印象や感覚を相対化できることです。他の人の感じ方や印象を知ることによって、その合宿で得られた経験をさらに深めることができるのだと思いました。
2. 非常に満足度の高いプログラムで、それも自分たちでやろうと思ったらもっと高い費用を払わないといけないと思うとコストパフォーマンスが最高であると感じました。今回はOSIPPへ進学する学部生の2人も参加してくれて、いつものメンバーに新鮮さも加わって非常に楽しかったです。自分で計画しようと思ったら優先度が下がってしまいそうだと感じる下関でしたが、実際に訪れて様々な経験をする中で魅力を深く感じる事ができ、参加前後でイメージが大きく変わりました。いろ

いろいろなところを訪れる意義を学ぶことができるプログラムにもなったのではないのでしょうか。

3. 改めて、非常に充実した「ゼミ旅行」を企画してくださりありがとうございました。
1日目には、MIの皆さんの充実した研究報告もあり、若い院生の皆さんとの交流に私自身、刺激をいただくことができました。やはり、船上ですと、非日常な空間で、普段とはまた違った発想が生まれるような気がします。また、船中2泊の中1日だけで、ここまで多くの観光地を巡ることができる機会は滅多となく、1日をとっても贅沢に過ごせたと感じました。心地良い疲労感で、1日の思い出を振り返りつつ、最後の船の時間を楽しめたのも、良い時間となりました。
4. 1日で寄港地の様々な施設や自然等を巡れたことはとても密度が高い経験になった。このような密度が高い中で、船内・バス内において普段よりもよりコミュニケーションが取れたと思う。特に修論のアイデア発表では、自分の準備不足や研究不足を深刻に感じた。今後より研究に集中してだけでなく、多くの人とのディスカッションをしていきたいと思った。寄港地での体験においても、自衛隊の基地やご当地グルメなど幅広い体験ができ、あまり旅行先として行くことがない山口県の魅力を存分に感じる事ができた。
5. 視察を通じて下関市の様々な魅力を知ることができた。私は出身が東北で中国地方に行ったことがなかったため、壇ノ浦の戦いや日清講和条約が結ばれた地などこれまでの歴史的な出来事が起こってきた土地を実際に見るという貴重な体験が出来た。このような歴史的な出来事が多くの遺産を通じてそこに住む人々のなかで共有されることで都市としての発展を遂げられる部分があるのかと感じた。またフェリーでの交流を通して、ゼミの仲間とさらに深い関係を気づくことが出来たと感じている。
6. ゼミの先輩方と色々な貴重な体験を一緒に行ったことで仲を深められた事が一番の収穫だった。今回は初体験が凄く多かったが、中でも交流する機会が特に多かったことが、高い充実感に繋がったのではないかと考える。旅行方法としてのフェリーがこんなにも楽しいこと、予定が沢山詰まっている旅の満足度が非常に高いことは知らなかった。ただ、これはアテンドしてくださった下関の方々がいなければスムーズに巡ることができなかつたはずであり、感謝したい。もし今後も体験企画があるならば、地元の方と交流する機会を持ちながら沢山の体験ができるものを希望したい。
7. 2025年度にOSSIPに入学する前に、赤井ゼミの院生さんたちと研究やツアーを通して、交流を深めれたことは貴重な機会となりました。研究では現MIの方々の修論テーマ発表があり、何に興味・関心があるかを知ることができました。ツアーではクルーズをはじめ、私にとって全てが初めての体験であったので、とても楽しく充実した日を過ごすことができました。OSSIP入学前にこのクルーズ旅を通して、交流を持つことができ、大変満足しています。
8. 今回のフェリー体験企画において、山口県下関の魅力について深く知ることができてとても有意義な時間でした。昼食も山口県ならではの瓦そばを食べることができ、その土地の郷土料理を食べることはとても大切な時間であると改めて実感しました。また海上自衛隊での体験やツアーはなかなか体験できるものではなく、すべてが興味深いものでした。ただ、観光日が一日しかなかったとは思いますが、予定がつめつめであまりそれぞれの観光地をじっくりと見るができなかつたので、もう少しゆっくりしたかったなと感じました。
9. 下関市の方々のご協力のおかげで、また、この旅を計画してくださった赤井先生の

おかげで、楽しく充実した旅をおくることができました。心より感謝申し上げます。ゼミ仲間と船や旅の中で寝食を共にし、さらに仲を深めることができたと感じています。そして、新しく入学予定の学生とはほぼ初対面でしたが、OSIPPの良さを伝えることができ、入学を楽しみにしてくれているようで嬉しかったです。今回はMIの修士論文案の初めての発表があり、どのような分野に興味があるのかを知ることができました。質問を通して議論を深め、具体的な研究案につながっていれば嬉しいです。

10. 今回のフェリー企画では、船旅ならではの距離感の中で、ゼミ仲間との交流を深めることができました。特に、フェリー内で共に過ごす時間が長かったため、研究の話だけでなく、それ以外の話題も含め、より深い議論を交わすことができました。また、寄港地ごとの訪問では、学校での勉強から一歩離れ、歴史的な背景や文化を直接体験することで、地域の魅力を共に実感し、より絆が深まったように思います。特に、普段訪れる機会の少ない場所にみんなで足を運ぶような体験を、今後も続けられたら素晴らしいのではないかと感じました。